

小瀬小学校

児童数:142人
(上小瀬751 ☎56-3704)

めざす児童像

くくく
しこし
さしこ
やかた

○小瀬小はこんなところ

本校は、市北部に位置し、周りは畑や山に囲まれ、緑豊かな自然に溢れる学校です。近くに緒川が流れ、総合的な学習の時間や理科の学習では、この恵まれた自然を十分に利用して活動しています。

現在7学級142人の児童が毎日元気に生活しています。遠距離通学が多く、約3分の1の児童が定期バスを利用して通学しています。そのため、以前より放課後を使った活動ができないため、ただでタイム（学校裁量の時間）を設け、漢字や計算などの基礎基本の定着を目指しています。また、保護者や地域の方々の協力も厚く、今年6月から「放課後子ども教室」を立ち上げ、現在14人の児童がこの制度を利用して生活しています。このように学

校・保護者・地域が一体となった「温かい学校づくり」を目指しています。

○みんな楽しく縦割り班活動

ここにこタイム（毎月第3月曜日）に6年生が中心となって異年齢集団での遊びを行ったり、ハートフルデー（毎月第2火曜日）に愛校作業として、校庭の除草や花壇整備などを行っています。また、この縦割り班活動は、運動会や縄跳び集会など運動関係の種目にも取り入れて幅広い活動を実践しています。特に今年度は、児童の自主的な活動を重視して、計画の段階から話し合い活動を十分に取り入れて行っています。



○小瀬小最大イベント「ゆずり葉まつり」

最初は、10周年の記念行事として行われましたが、現在は毎年恒例行事として定着しています。実施する内容については、毎年話し合って決定していましたが、昨年度より、御輿（みこし）づくり・昔遊び・収穫祭（学習発表会）の三つの内容をローテーションを組んで実施することになりました。

この行事の大きな特徴は、大枠については、PTA運営委員会が決定しますが、内容の詳細については、7つの地区の地区委員を中心として地区独自の内容で実施しているところにあります。より実態を把握した地域密着型で実践しています。また、幼・保・小の連携の一環として、近隣の3つの幼稚園児や保育園児を招待して行っています。今年度は、11月2日に開催します。地域の皆さん、ぜひご覧ください。



○サケの孵化・放流

以前は、全校児童で取り組んでいましたが、現在は、3年生の総合的な学習の時間の一環として活動しています。この活動は、11月後半よりスタートします。まず初めに、地域の方より卵をいただき、水槽で1週間ぐらいかけて、孵化させます。その後、水の管理や餌やりを毎日欠かさず行い、育てていき、3月前半に緒川に放流します。この活動を通して、児童たちは、環境や生命の大切さを学んでいきます。

